

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城北中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和5年4月18日（火）

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（中学校3年生生徒）

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- | |
|---|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。 |
| ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。 |
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

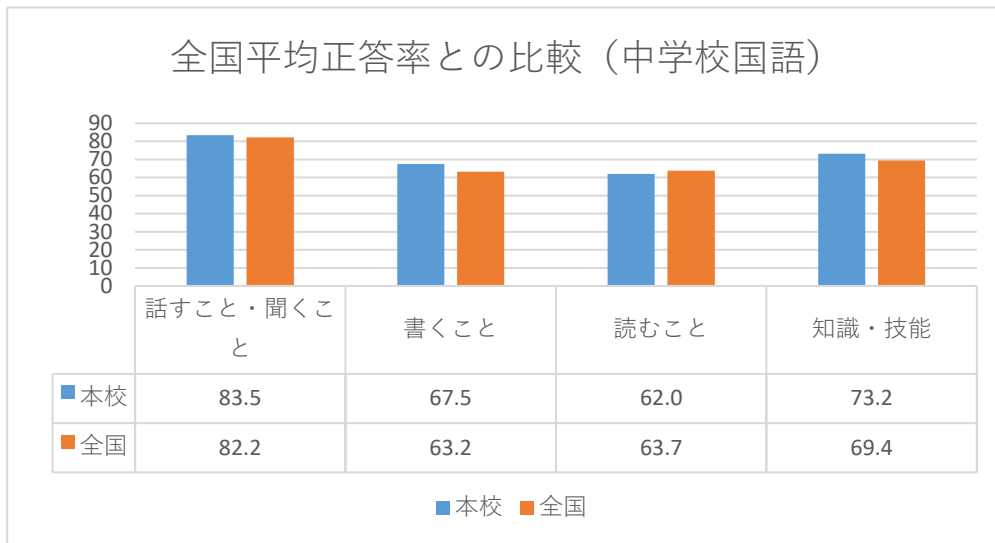
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語（中学校）に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

本校の全体正答率は72(全国69.8、佐賀県68)、4領域のうち3領域で全国を上回っており、特に「書くこと」において全国平均を4.3ポイント、佐賀県平均を6.6ポイント上回りました。「読むこと」については全国平均を1.3ポイント下回っていますが、前15問の設問のうち、13問で全国・佐賀県平均を上回りました。無回答率については、記述式の設問でやや全国平均よりも高かったことから、粘り強く学習に取り組む姿勢をもう少しもちたいところです。

(2) 成果と課題

今年度の結果は、前年度、「書くこと」の領域で全国平均を下回っていたことを踏まえ、「根拠を明確にして書くこと」に重点を置いた授業に取り組んできた成果といえます。また、「知識・技能」「思考・判断・表現」どちらの観点においても全国・佐賀県平均を上回りました。

課題は、ほぼ全国平均を上回っていたにも関わらず、「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える」問題で、全国平均を9.1ポイントと大きく下回っていることです。文章を読む際に、内容を理解するだけでなく、文章の構成や展開、使われている語句が与える効果など、表現に目を向けた読みを意識できるような学習が今以上に必要です。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

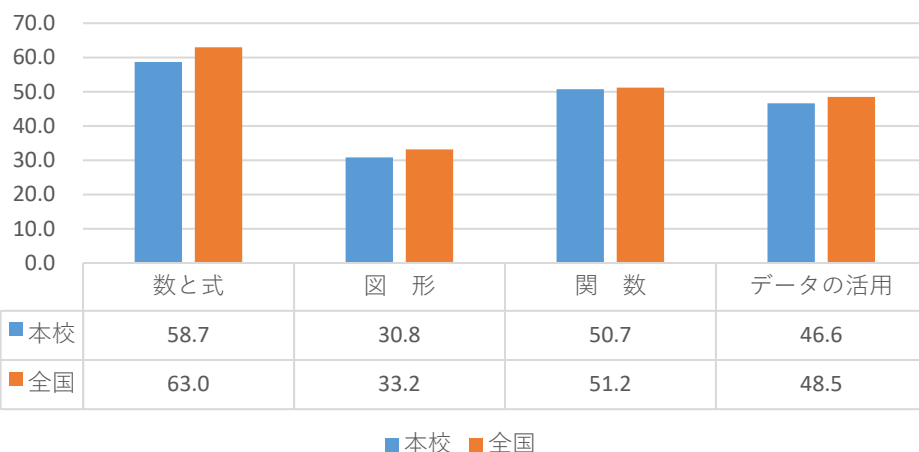
- 単元シートを活用して、身に付けたい力と見通しを明らかにし、目的意識をもって学習に取り組めるようにしています。
- 『学び合い』を継続し、交流しながら多様な考え方に触れるとともに、言葉で伝え合う場を取り入れた授業を行っています。
- 文章や話を、「比べながら」「批評しながら」など、視点をもって読む学習の場を設定しています。

【ご家庭では】

- 国語は家庭生活における、話す・聞く・書く・読むことが重要です。ご家庭の方も一緒に会話や読書等を楽しんでください。
- 学校では、起床・就寝・学習の三つの時間を毎日同じようにすること（三点固定）を呼び掛けています。生活のリズムと朝ごはんの重要性や、スマートフォンやゲームが脳に与える危険性などについても、お子さんと十分に話し合っ、生活のリズムを整えさせてください。
- 学習を続けるには、目標が必要です。目先の目標だけでなく、どんな人生を送りたいか、どんな仕事

2 数学

全国平均正答率との比較（中学校数学）



(1) 結果

全体の正答率は、全国平均が 50.7 に対して、本校は 48.7 と下回る結果でした。（参考：佐賀県 46.7）特に「数と式」の領域では－4.3 ポイントと、大きく下回っています。その他の領域ではおおむね－2～－3 ポイントとなっています。観点別に見ても、「知識・技能」「思考・判断・表現」のいずれにおいても全国平均を 2 ポイント下回っています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「図形」、「関数」、「データの活用」で、特に記述式の問題において佐賀県平均を上回っています。（全国平均との比較では 1 ポイント下回っている）

今後も日々の授業で、知識や技能の習得だけでなく、『学び合い』を通して、数学的な見方や考え方を育み、教え合ったり、伝えあったりする場面を設定して取り組んでいくことが重要であると考えています。さらに、基本的な計算力を身に付けるための問題演習を重要視し、時間を確保しながら進めていきます。

(3) 学力向上のための取り組み

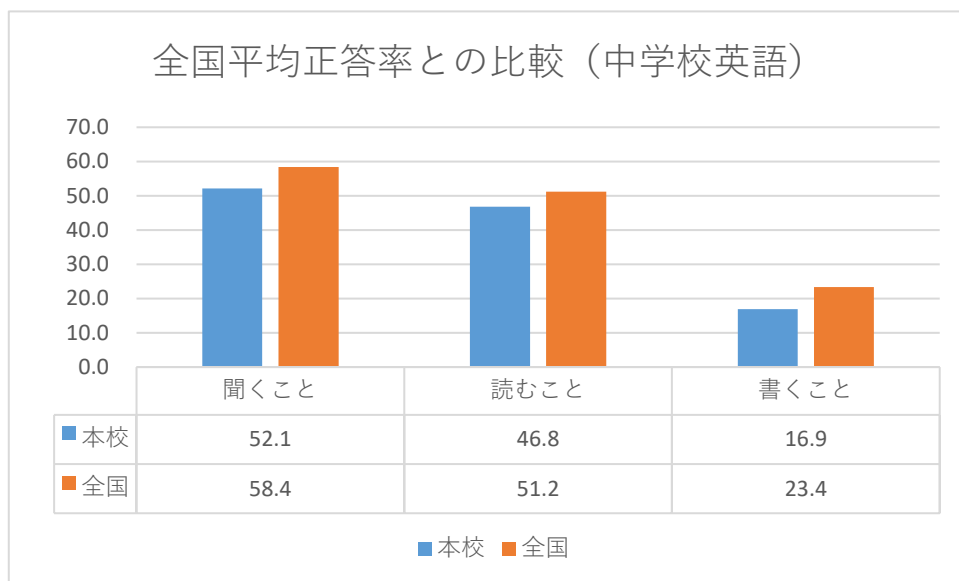
【学校では】

- 単元ごとに単元シートを作成し、その単元で身に付けたい力やどのような過程で学習していくのかを提示していくことで、見通しをもって粘り強く学習に取り組むことができるようにしています。
- 『学び合い』の授業に取り組み、授業の中で全員達成を目指し、学習内容の理解を図るとともに、周りに伝える場面を設定しています。
- 授業の 2 分前から計算プリントに取り組むことで課題である「数と式」における基礎計算力の向上を図っていきます。

【ご家庭では】

- 学習内容の定着のためには、復習とその継続が欠かせません。家庭学習の時間を確実に設け、習慣化してほしいと思います。
- 練習問題やテストなどでの間違いをそのままにせず、事後の直しを大事にしてほしいと思います。また、より理解を深める為に、類似問題や発展的な問題に取り組むことも大切にしてほしいと思います。

3 英語



(1) 結果

全領域において、本校は全国平均を下回っています。特に「書くこと」において、全国平均を 6.5 ポイント下回っており、テーマや条件に沿って、説明や意見など、まとまりのある文章を書く技能を高める必要であると考えられます。

(2) 成果と課題

今年度は、特に「読むこと」に関して、文章の長短にかかわらず、ポイントをおさえて内容を把握する学習に取り組みました。問いに対して何を答えるべきかを理解することができるように授業で取り組んだことで、全国との差を僅かに縮めることができました。しかし、全ての領域で全国平均を下回っていることから、話の場面や内容をしっかりと理解したうえで、自分の考えをこれまでに学んだ文法事項を活用して書くことができるようになることが今後の課題です。今後はいろいろなテーマ、条件に沿って、まとまりのある文章を書く活動を取り入れた授業を展開していきます。また、家庭学習の習慣化に向けた改善を図っていきます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 日常生活の場面を英会話で表したり、英語を用いてペア活動や ALT との活動機会を増やしたりするなど、英語に触れる機会を数多く設定しています。生徒の興味・関心を高めるテーマを設定し、これまで学んだことや知識を使った授業を取り入れています。
- 単元シートを活用して、その単元で身に付けたい力を提示し、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるようにしています。

【ご家庭では】

- 毎日の学習時間を設定し、英単語や文法の学び直し等の復習を習慣化してほしいと思います。
- テーマや場面における自分の考えや思いを英語で表現し、簡単な言葉で伝えることができる環境づくりを目指してほしいと思います。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	78.3%	78.6%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	32.9%	34.7%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	58.7%	54.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.6%	37.2%
将来の夢や目標をもっていますか。	37.8%	39.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	73.4%	71.7%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	79.0%	80.3%

「毎日同じ時刻に起きていますか」の項目については全国平均を上回っており、おおむね規則正しい生活ができていると考えられます。また、「人の役に立つ人間になりたいか」の項目については、肯定的な回答をした生徒の割合が高く、自己肯定感や自己有用感が高まっていると考えられます。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	9.8%	15.3%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	6.3%	10.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	23.1%	23.4%
「1時間以上、2時間より少ない」	38.5%	32.1%
「30分以上、1時間より少ない」	18.2%	18.0%
「30分より少ない」	10.5%	9.9%
「全くしない」	3.5%	6.0%

家庭学習については、「全くしない」生徒の割合が全国平均よりも低かった一方、「一日の勉強時間が3時間以上」が大きく下回りました。また、「自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合が、全国と比較しても低いです。家庭学習への取り組み方全般について、改善の必要があります。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 授業においては、「主体的、対話的で深い学び」を踏まえながら、思考力・判断力・表現力の定着を図るような授業改善に努めていきます。また、授業と連動した課題の工夫、単元シートや定期テスト前のチェックシート、学習計画表を活用し、家庭学習の定着を図ります。
- 学校行事や生徒会活動等で、出番・役割・承認のサイクルで、個に応じた出番を設定し、その役割を果たすための過程を承認することで、自己有用感を高める取組を進めます。また、毎週の「北辰タイム」や学級、学年での活動を通して、コミュニケーション力の向上に努めます。

【ご家庭では】

- 自学ノートや課題、学習計画の取組への声掛けと同時に、実際に単元シートや学習計画表に目を通していただき、「できたところ」や「頑張ったところ」の承認、声掛け、励ましをお願いします。
- 規則正しい生活に向けて、お子様へのご指導をお願いします。また、家庭における会話で、学校のことや進路についての話題も取り上げてください。家庭での学習時間の確保のため、テレビやSNS等の使い方や使用時間についても話し合ってくださいようお願いします。